

群マネの実施方針

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「技術職員や財源、知識・技術力の不足等の課題に対し、地域一括発注によりコスト縮減を図りつつ、技術的な知見の補完や管理業務の効率化を実施」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
インフラ分野						
道路			(公財)神奈川県都市整備技術センター直営で実施	(公財)神奈川県都市整備技術センターによる地域一括発注	橋梁※	
河川						
公園						
下水道						
その他						

<上記の補足>

神奈川県内では、市町村道路メンテナンス部会(事務局:神奈川県、(公財)神奈川県都市整備技術センター)で、地域一括発注による点検の枠組みを構築、平成26年度から実施

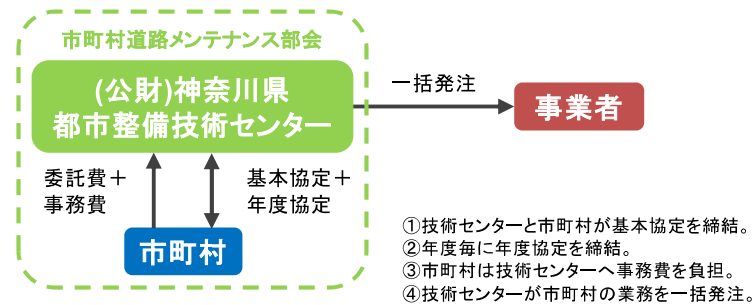
※ 地域一括発注による点検の枠組みで試行(早期の修繕が必要な橋梁の補修設計のみ)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有・**無**
- 性能規定の導入 : 有・**無**

(2) 自治体の束

(公財)神奈川県都市整備技術センターによる地域一括発注点検
(橋梁・道路トンネル・道路附属物・道路土工構造物・小規模附属物・舗装)



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・**無**
- 連携協力道路制度の活用: 有・**無**

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ 市町村道路メンテナンス部会等の場を活用して、意見交換会や現場見学会等の研修を実施。
- ⇒ 市町村、技術センター、事業者の三者で点検結果を確認する審査会を開催。健全性の診断は最終的に市町村が決定。

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ 道路施設の台帳情報や点検結果、補修履歴などのデータを記録・保存する「道路施設維持管理共同システム」を技術センターが運営し、これらを活用しながら修繕計画の立案等を行うことが可能。